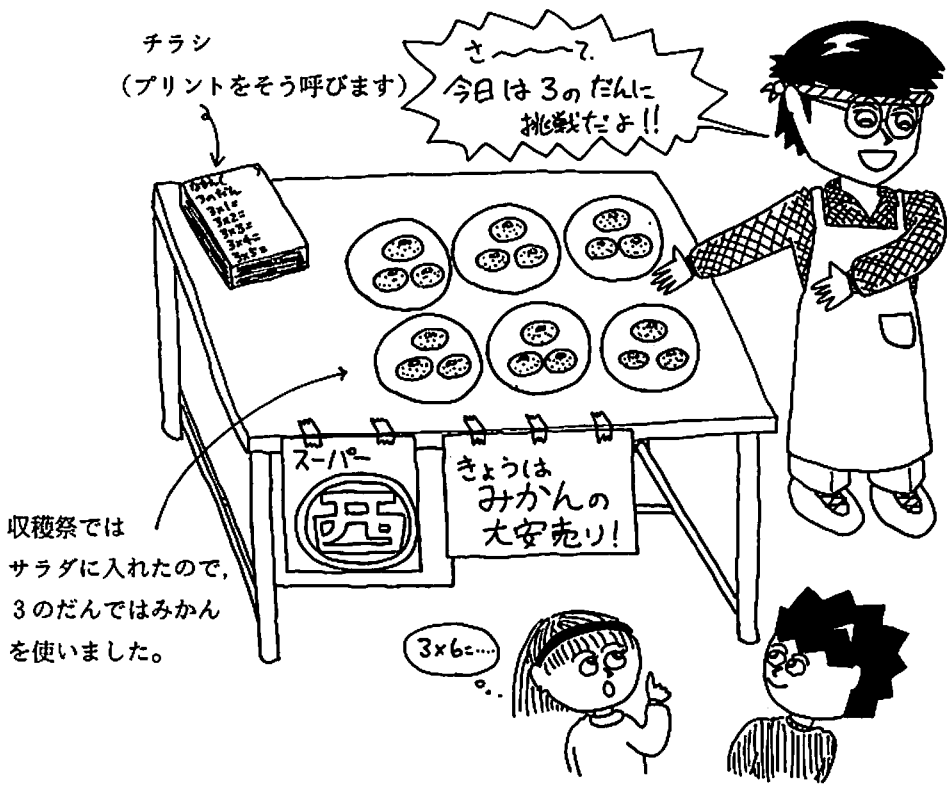
『収穫祭』から算数科まで

函館市立北星小学校　西川隆司

２年生の栽培活動ではミニトマトを育てます。収穫期を迎える頃になると，１年生を招待して収穫祭を行います。１年生のお世話を中心にお祭りの準備を進めるので，子どもたちにとっては，楽しみながらよい体験を得ることになります。活動を一歩進めて父母の協力をお願いし，子どもと一緒に豚汁とサラダをつくって収穫の喜びを味わいます。

この楽しかった出来事を「だれかに伝えたい…」という子どもの思いが『ゆうびんのたび』の活動へとつながります。

さらに，収穫祭で使われた野菜を，算数科の『かけ算』の学習にも活用します。教室を『スーパーまるにし』に，教師用机は店先の売り場に変身させます。できるだけ，実物を教室に持ち込んだり，チラシを出したり，前掛け姿の服装に気を配ったりして，それらしい雰囲気を醸し出します。苦手意識を持ちがちな掛け算の学習も，生活科の延長として楽しく進めることができます。